

NEWS RELEASE

2012年7月24日
株式会社セブン&アイ・ホールディングス
ヤマトホールディングス株式会社

「マルチ電子マネーサービス」に関する契約を締結。

「イトーヨーカドー」「アリオ」全店・約5,000テナントにて順次複数の電子マネーがご利用可能に。

株式会社セブン&アイ・ホールディングス(東京都千代田区、代表取締役社長:村田紀敏、以下セブン&アイ)とヤマトホールディングス株式会社傘下のヤマトシステム開発株式会社(東京都江東区、代表取締役社長:皆木健司、以下YSD)並びにヤマトフィナンシャル株式会社(東京都中央区、代表取締役社長:栗栖利蔵、以下YFC)はこのたび、複数の電子マネー決済を可能にする「マルチ電子マネーサービス 1」に関する契約を締結いたしました。

1 ヤマトグループの「マルチ電子マネーサービス」

国内の流通系・独立系・交通系の主要電子マネーを一台の端末で決済できます。各種電子マネー事業者との契約・精算業務はヤマトグループが一括代行いたします。

詳細ホームページ: <http://em.nekonet.co.jp/>

セブン&アイは、

1. 一台の決済端末で国内の主要電子マネーすべてに対応できる点
2. テナントごとに異なるレジを使用しているにも対応できる外付けの決済端末である点
3. YSD・YFCと契約するだけで、各電子マネー事業者との加盟店契約は不要である点を評価し、ヤマトグループの「マルチ電子マネーサービス」の導入を決定いたしました。

セブン&アイは、このマルチ電子マネー端末を全国の「イトーヨーカドー」及び大型ショッピングセンター「アリオ」の合計、全176店舗・約5,000のテナント専門店 2 に順次導入予定で、セブン&アイグループの独自電子マネー「nanaco(ナナコ)」はもちろん、「全国交通系電子マネー」³、「楽天Edy(ラクテンエディ)」での支払いを可能にすることにより、お客さまの利便性をより向上させます。今月末より、アリオや大型店等、計8店舗で本格的なサービス導入を開始し、本年末までに、約60店舗・約2,600のテナント専門店を越す国内各店舗へ拡大してまいります。

また、今後は「赤ちゃん本舗」「ロフト」「そごう・西武」等、セブン&アイグループ各社への導入も検討し、これまで以上にお客さまに便利でお得なお買物をお楽しみいただけるよう、各種サービスの拡充を図ってまいります。

2 一部のテナント専門店ではご利用いただけない場合があります。

YSDとYFCは、年間の電子マネー決済件数(2011年1~12月)で国内最大規模を誇るセブン&アイに対して、マルチ電子マネー端末の導入および店舗への設置、そして決済情報の中継センター機能・精算機能をワンストップで提供し、セブン&アイのさらなるサービス拡充や業務効率向上に貢献してまいります。

また、店舗の販売促進サービスや、受発注・在庫管理支援サービスなどの関連サービスを充実させることで、他の電子マネー関連サービスとの差別化を図り、電子マネー利用者の利便性をさらに高めながら、他の小売・飲食事業者におけるコスト削減と収益拡大に貢献してまいります。

文中のライセンス表記について

- ・「nanaco」は、株式会社セブン・カードサービスが発行するプリペイド型電子マネーサービスです。
- ・「楽天Edy」は、楽天グループのプリペイド型電子マネーサービスです。

以上